

**【宮城県仙台市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	宮城県仙台市
担当課名	健康教育課、スポーツ振興課
電話番号	022-214-8882

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	1,096,213人 (R6.3.1現在)	部活動数	954部活
公立中学校数	65校 (うち中等教育学校1校)	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	検討会議設置済
公立中学校生徒数	25,601人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	ロードマップ策定済

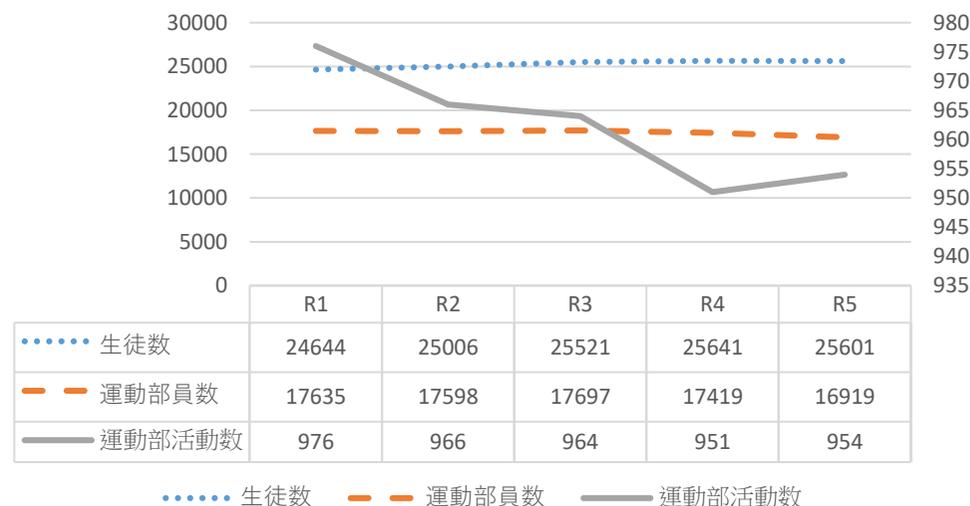
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市の部活動は、「運動部活動の方針（ガイドライン）」に則り、各学校において適切に実施されている。しかし、部員数の減少により、団体種目ではチーム編成に苦慮している学校が増えている。

令和5年度に学校教職員を対象に実施した「部活動の地域移行に係るアンケート調査」では、一人で顧問を担うことや、自分の競技経験のない部活動を担当すること等、部活動に関わる教師の負担も報告されている。

また、本市の地域移行に係る課題として、地域の受け皿となる団体や指導者の不足が大きいものと捉えている。

今後は協議会を立ち上げ、本市の実情に即した地域移行の在り方を検討していくこととしている。



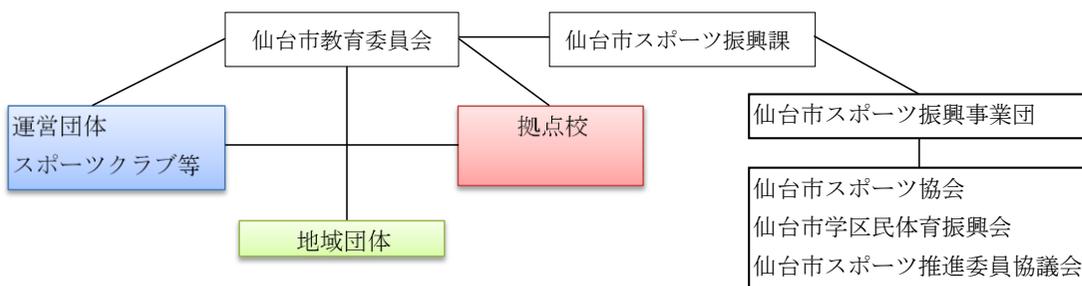
仙台市部活動調査より

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）

【運営体制図】



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会（健康教育課）**

地域移行実証事業に係る運営、運営団体と拠点校の連絡調整

- **首長部局（スポーツ振興課）**

地域移行に関する全体的なコーディネート

年間の事業スケジュール

- R5.10 拠点校の調整
- R5.11 地域指導者の人材確保、委託契約
- R5.12 学校担当者への説明（日程、活動場所の調整を含む）、保護者への説明（文書）
- R6.1 事業開始、事業実施校へのヒアリング
- R6.2 モデル校へのアンケート等の実施（教員、保護者、生徒）、事業完了
- R6.3 成果報告

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

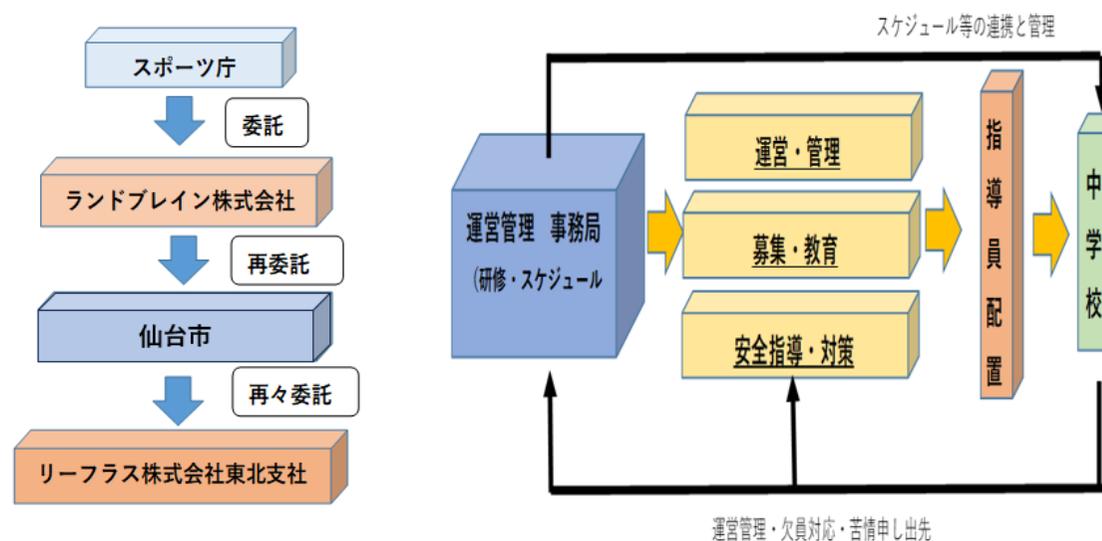
拠点校数	6校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	野球
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	6部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	山田中学校、人来田中学校、愛宕中学校 折立中学校、茂庭台中学校、秋保中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	6部活
地域クラブ活動で実施した種目	野球
運営主体名	リーフラス株式会社
運営類型	地域スポーツ団体等運営型（民間スポーツ事業者運営型）
1か月あたりの平均的な活動回数	野球：月4回程度
指導者の主な属性	会社員
活動場所	球場等
主な移動手段	保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

■民間スポーツ事業者による運営管理体制の整備

統括責任者を配置することで、生徒保護者・顧問教諭・指導者との連携及び連絡調整を行う。

取組の 成果

■個人情報の管理

各活動拠点の統括責任者が管理を徹底した。

■活動の欠席連絡について

顧問教諭を経由することなく、保護者から統括責任者への流れを整えた。各月毎に活動スケジュールを配布し、周知徹底を図った。統括責任者が出席管理等の把握に努めた。連絡なく当日欠席をする生徒に対し、個別に電話かメッセージにて確認を行い安全管理の徹底を図った。

特に 工夫した 事項

民間スポーツ事業者から統括責任者を配置することで、実証事業を進める上での円滑な事業運営につながった。

(統括責任者の主な業務)

活動環境の安全管理、生徒に怪我が起きた際の対応、学校・保護者との共有、活動スケジュールの調整、保護者との連絡窓口、定期的な巡回と指導者に対する指導、指導者からの活動報告の整理等。

また、事故や災害が起きた際に、現場指導者の適切な初動対応が行えるよう、「事故対応・災害対応マニュアル」を常備し、万が一の備えを整えるようにした。

今後の 課題と 対応方針

今後については、拠点となる活動場所に合わせた管理、指導者との連携を構築する必要がある。

スケジュールチェックや連絡共有ができる連絡ツールがあると、保護者と管理者側の双方にとって効率の良い形になると考える。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

- 指導員の人材確保
- 教員の兼職兼業での雇用

取組の成果

- 指導体制について
地域の指導員、兼職兼業の教員、統括責任者を含めた複数人の指導体制で、効率的な指導メニューへの反映、安全面や救急対応時に備えた環境設定に繋がった。
- 地域スポーツクラブの満足度について
参加した中学生を対象としたアンケートの中で(回答者21名)「休日の部活動指導員の声かけ、教え方は良かったですか？」という問いに対し、「とてもそう思う」「そう思う」と答えた生徒は100%であった。

特に工夫した事項

新たな指導者が必要となったが、民間スポーツ事業者にて臨機応変な対応を行うことで、指導体制の構築ができた。
また、地域指導者の活動の進め方や練習方法等について、統括責任者による定期的な巡回を通して、指導者に対する状況に合わせた指導を適宜行うようにした。
教育委員会が各校にヒアリングを行い、委託業者の運営状況の改善等に繋げることができた。

今後の課題と対応方針

平日の練習を考慮した指導が必要な場面もみられた。指導員、顧問教諭の連携を図ることに加え、専門的な技術向上のみならず、安全面やスポーツを通じた人格形成に繋がるよう研修を充実させる必要がある。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

【生徒用】

休日の部活動（地域スポーツクラブ体制整備事業）アンケート

記入日 年 月 日

〈アンケートの目的〉
このアンケートは、今後の休日の部活動をより良いものにしていく為に、部活動に対して皆さんが日々感じていることを調査するものです。
このアンケートによって、皆さんが不利益になることは一切ありませんので、率直な思いを記載して下さい。

1. 部活動についての次の質問に対して、【A】～【D】の記号で答えて下さい。
【A】とてもそう思う 【B】そう思う 【C】どちらでもない 【D】そう思わない

① 私は、部活動に対してもっと上手になりたい、成長したいと思っている。	
② 私は、部活動に対して真剣に取り組んでいる。	
③ 私は、部活動以外の時間で、上達する為に取り組んでいることがある。	
④ 私は、野球が少しずつ上達し、楽しくて好きになった。	
⑤ 私は、野球の楽しさや奥深さを感じている。	
⑥ 私は、卒業してからも野球を続けていきたいと思っている。	

2. 休日の部活動指導員についての次の質問に対して、【A】～【D】の記号で答えて下さい。
【A】とてもそう思う 【B】そう思う 【C】どちらでもない 【D】そう思わない

① 休日の部活動指導員は、熱意を持って指導していますか？	
② 休日の部活動指導員は、生徒の意見や要望を受け入れていますか？	
③ 休日の部活動指導員の、声掛けや教え方は良かったですか？	
④ 休日の部活動指導員の、説明や手本は分かりやすかったですか？	
⑤ 練習や課題について、「顧問の先生」と「休日の部活動指導員」との連携や引継ぎ等とはとれていると思いますか？	
⑥ 休日の部活動指導員の指導を受けて、野球に対する意欲が高まりましたか？	
⑦ 休日の部活動指導員の指導を受けて、技術やチーム力の向上を実感していますか？	

3. 休日の部活動（地域スポーツクラブ活動体制整備事業）について、感想や要望を自由に書いて下さい。

ご協力ありがとうございました。

【①】

休日の部活動（地域スポーツクラブ活動体制整備事業）アンケート

記入日 年 月 日

〈アンケートの目的〉
地域スポーツクラブにおける休日の部活動に関するアンケートです。
お子様の休日の部活動への取り組み方に関して、率直なご意見をいただければ幸いです。

① お子様は、「休日の部活動」に対して、意欲的に取り組んでいた様子ですか？

1. とても意欲的に取り組んでいる
2. 意欲的に取り組んでいる
3. どちらでもない
4. あまり意欲的な姿勢は見られない

② 休日の部活動指導員について、満足されていますか？

1. とても満足している
2. 満足している
3. ふつう
4. 満足していない

③ 上記の質問に回答した、その理由について教えてください。

（理由）

④ お子様は、家庭内で部活動の練習について話されていますか？

1. 積極的に話す
2. たまに話す
3. どちらでもない
4. まったく話さない

⑤ 今後、学校部活動が地域スポーツ活動に移行することとなった場合、保護者の1カ月の負担額はいくらが妥当だとお考えですか？

⑥ 「休日の部活動指導員」についてのご要望やご意見等があれば記入ください。

ご協力ありがとうございました。

【②】

2. 実証内容と成果

参考資料 (活動写真)



【①】



【②】



【③】



【④】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●経過

4月～9月 実証事業に係る検討

1月～2月 地域スポーツ活動の実施

●実施にあたって生じた課題

・活動場所の調整

・保護者への連絡体制

●実施内容、工夫した点 等

教員の負担軽減に関し一定の効果が見られた。

また、指導を希望する教員の兼職兼業を試すことができた。

今後、持続可能なものとしていくためには、受益者負担等に係る適正な金額の検討と、保護者の理解が課題である。

●予定

9月 地域スポーツクラブ運営団体と契約締結

10月～2月 事業実施

3月 実施報告書提出

●内容

休日の地域スポーツ活動に、市が契約した団体から指導者を派遣し、希望する生徒に参加してもらう形式で実施する

令和7年度以降は地域スポーツ活動として、自立して実施できるよう働きかける。

●予定

令和6年度の実証事業に係るアンケート調査により検証を行い、令和7年度に繋げていく。

また、令和8年度以降は、協議会で策定した推進計画をもとに、地域クラブ活動を広げていく。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

	主な取組事項	備考
令和4年度	R4.7 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言を受け、関係各課、中体連と今後の対応について情報共有 R4.11 スポーツ庁委託事業、地域運動部活動推進事業実施（2校） R4.12 地域移行に係る学校へのヒアリング	
令和5年度	R5.12 仙台経済同友会と仙台市・仙台市教育委員会とで、部活動の地域移行及びスポーツ振興に係る連携協定を締結 スポーツ庁委託事業、地域スポーツクラブ活動体制整備事業実施（6校） 部活動地域移行に係る情報交換会（検討会議） R6.1 アンケート調査実施（教職員対象） R6.2 競技団体ヒアリング	企業からの部活動への指導者派遣を含む本協定は、人材確保への取組となる。
令和6年度	・部活動地域移行に係る方針を検討する協議会の設置（年3回開催予定） ・指導者派遣に係る人材確保、学校とのマッチング（仙台経済同友会と連携協定締結による） ・地域スポーツクラブ活動体制整備事業実施 ・生徒、保護者向けアンケートの検討	協議会の開催は、令和6年度と令和7年度の2年間にかけて予定しており、本市の部活動地域移行に係る推進計画を策定する予定としている。
令和7年度	・協議会開催（年3回開催予定）	
令和8年度	・部活動地域移行の段階実施	休日の学校部活動の地域移行、地域連携を可能な限り早期に実現する。